

<b>Web デザイン</b>		<b>教授 梅井 勇之</b>	
<b>科目カテゴリ</b>	<b>経営・経済コースの専門選択科目</b>	<b>科目ナンバリング</b>	<b>23002209</b>

### 1. 授業のねらい・概要

インターネットを用いたコミュニケーションの手段として Web ページの設計と開発について実習を行う。Web はハイパーテキストの概念を元としている。ハイパーテキストは、人間が物事を記憶するように、あるいは記憶していたものを引き出す時のように情報を提示するものであり、Web はインターネット上でこれを実現したものである。

ワープロ感覚で画面をレイアウトするだけで簡単に Web ページを生成する「ホームページ作成ソフト」が市販されている。便利ではあるが、正しい知識を得た上でそういったツールを使うべきであるという考えで、こうしたソフトを使用せず、テキストエディタによって Web ページを作成する。

各自テーマを決め、それについて説明するための Web ページを作成することで授業のまとめとする。

### 2. 授業の進め方

コンピュータ教室における実習形式で行う。HTML やスタイルシート (CSS) の基礎知識に関する講義を受け、それに基づくコンピュータ実習を行うことで理解を深めてもらう。

### 3. 授業計画

1. ガイダンス	9. CSS の基本 (適用)
2. HTML と WWW サーバー	10. 文字の書式の CSS (設定)
3. タグの基本と改行	11. 文字の書式の CSS (適用)
4. 文字の装飾	12. CSS における色の指定
5. 画像の掲載	13. 背景の CSS
6. リンクの作成 (Web)	14. Web サイト実習課題 (設計)
7. リンクの作成 (画像)	15. Web サイト実習課題 (構築)
8. CSS の基本 (設定)	

### 4. 準備学修 (予習・復習等) の具体的な内容及びそれに必要な時間

出題された課題の制作を通して、HTML5・CSS のプログラミングを理解しておくこと (1 時間程度)。

### 5. 課題 (試験やレポート等) に対するフィードバックの方法

課題を出題後にプログラミングのヒントを与え、授業時間終了前に模範解答を説明する。

### 6. 授業における学修の到達目標

Web ページを企画・設計し、HTML5・CSS を使って Web サイトを制作できる。

### 7. 成績評価の方法・基準

課題の成果物 (60%)、定期試験の結果 (40%) によって評価する。

### 8. テキスト・参考文献

テキスト: 相澤裕介, 『情報演習 HTML5 & CSS3 ワークブック』, カットシステム, 2012 年

### 9. 受講上の留意事項

演習を中心に進めるので必ず出席すること。操作や意味がわからないときには積極的に質問すること。